

## 徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク全体構想（案）に対する意見と対応

「徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク全体構想（案）」を協議会の委員・オブザーバーへ 2020 年 12 月 28 日に送付して、2021 年 1 月 8 日までご意見を伺いました。

全体構想（案）に対していただいた意見と対応を以下に示します。なお、全体構想（案）20210115 修正版では、意見を踏まえた加筆修正箇所を青字で示しています。

### 全体構想（案）に対する意見と対応（1/2）

頁	意見	対応
15-21	記述全般について、取組の主体やその内容と時期が理解しやすくなるように、地域(市町)や団体毎にまとまりのある記述、また正確な記述となるよう工夫していただきたい。	内容の再確認を行い、加筆修正しました。
16	「コウノトリ定着推進連絡協議会」の説明枠に下記文章を追加してください。 2019 年 5 月に環境省の「地域循環共生圏づくりプラットフォームの構築に向けた地域循環共生圏の創造に取り組む活動団体」としても選定されました。	指摘に従い追加しました
19	徳島県流域に関わる構想なので、「徳島県〇〇市」は「〇〇市」でよいのでは。	指摘に従い修正しました。
19	「有機農法(有機農業)による」と記載すると、小松島市生物多様性農業推進協議会が取り組む「農薬や化学肥料を 50%以上低減」の認証制度に対して誤解を招く恐れがあるため、同協議会で説明されている記述をそのまま採用した方がよいと思います。	同協議会で説明されている記述を採用して修正しました。
22以降	記載内容について特段の意見はありませんが、例えば、通常の農業において農薬、化学肥料を減らすこと一つとっても簡単なことではありません。目的・目標の設定、具体的な取組内容については、特に地元の意見が重要と思います。	取組を進めるにあたっては、地域の理解を得ることに留意します。
29	退避溝(江)は、田んぼの中に設置された溝と認識していません。写真にあるのは田んぼと田んぼの間の「水路」ではないでしょうか。退避溝(江)の写真は、小松島市生物多様性農業推進協議会が所有していると思いますので、差し替えが必要であれば問い合わせしてみてください。	使用している写真は、福井県越前市の田んぼに設置されている退避溝(江)です。 写真の差し替えを検討するために、小松島市生物多様性農業推進協議会へ退避溝(江)の写真の提供について、問い合わせ中です。
28, 32	冬期湛水の実施の「早春のカエル類」は「早春に産卵するカエル類」とした方が適切と思います。	指摘に従い修正しました。

全体構想（案）に対する意見と対応（2/2）

頁	意見	対応
37	<p>「水鳥と鳥インフルエンザの関係性や対応策の周知」において、原文が平常時における鳥インフル発生想定対応なのか、発生後の対応かが不明瞭ですので、例えば下記のような表現で発生後の対応を明瞭化していただけると幸いです。</p> <p>コウノトリ・ツル類等の水鳥と鳥インフルエンザの関係性、被害発生の防止対策、被害が発生した場合の支援策について、関係者の理解が得られるように、事前に情報提供と周知を行います。鳥インフルエンザが発生した場合には、コウノトリ・ツル類等の状況に関して徳島県や環境省等と連絡を取り合い、情報把握を進めます。</p>	指摘に従い修正しました。
49, 52	規約の委員名簿について、異動に伴う委員の名前の変更や委員の役職の記載について修正が必要	2021年1月時点の内容で訂正しました。